

J-mama'z presents

秋JAZZ 2025

～マジカルなひととき、多彩な世界観を～



小沼ようすけ(g)

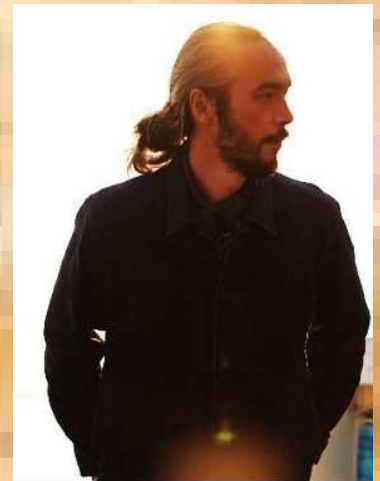
小沼ようすけ

featuring

TOKU & Kai Petite



TOKU(vo.flh)



Kai Petite(g.vo)

9月20日(土)

開場 16:30 開演 17:00

会場 : 岡崎市図書館交流プラザリぶら ホール

入場料 : 2,500 円 入場料は当日会場受付にてお支払ください

定員 : 150 名 (全席自由) 【要事前申込】

申込開始日 7月24日

【申込方法】

BLUE WAVE JAZZ FORUM 宛てに、お名前・ご住所・ご連絡先・申込人数を

メール又はお電話・FAXにてお申込みください

E-mail : bluewave-jazz@okazaki.cc ・TEL:090-1280-7118(澤田)

F A X : 0564-46-5622 (澤田)

こちらのQRコードからもお申込みが出来ます ➡



主催 : ジャズの街岡崎発信連絡協議会
事務局 : 岡崎市生涯学習課 TEL : 0564-23-3175
お問合せ : 福間 (080-5165-2900)

岡崎JAZZ
Monthly
2025



Profile



小沼ようすけ(g)

秋田県出身 14歳でギターを始める。

1999年ギブソンジャズギターコンペティション優勝。2000年、オルガントリオAQUA PITのメンバーとして活動(2013年まで)。2001年、SONY MUSIC よりデビューアルバム「nu jazz」をリリース。以後10年間に在籍。2002年、「Summer Madness」リリース。2003年、プロデューサーに笹路正徳氏をむかえて Jazz'n pop リリース。斑尾ジャズフェスティバル出演。2004年、リチャード・ボナ(ba)、アリ・ホニグ(dr)をフィーチャーしたトリオアルバム"Three Primary Colors"を Nyで録音。レコーディング途中に指弾きに転向。2005年、1年限定ユニットTKYのメンバーとして活動。Fuji Rock Festival、東京JAZZを筆頭に全国20箇所以上のジャズ・ロックフェスティバルからのオファーにより出演。2006年、アコースティックメインのアルバム"3,2,1"リリース。拠点を東京から湘南エリアに移す。2007年、海辺の1日を表現したコンセプトアルバム「Beautiful Day」をLAで録音。エンジニアにアル・シュミットをむかえ、リンカーン・ゴーインズ(ba)、スティーブ・フェローン (dr) をフィーチャー。リリース後はトリオで全国ツアーを開催。アジア最大級のジャズフェス"Java Jazz Festival"にリーダーユニットで出演。2008年 全国47都道府県ソロツアーを実現。2009年イタリアツアー、香港ジャズフェスティバル出演。2010年、フレンチカリビアンミュージシャン達とレコーディングした「Jam Ka」発売。グアドループの民族音楽グオッカの太鼓(ka)がフィーチャーされたこの作品で独自の世界観を展開。Blue Note NY& Tokyo、生まれ故郷秋田で発売記念ライブを行う。「The Best」も同時発売。

2014年、オーガニックジャズをコンセプトにアルバム"GNJ"をT5 JAZZよりリリース。2016年、Flyway LABEL設立。第一弾作品としてパリで録音された「Jam Ka」の続編、「Jam Ka Deux」をリリース。この作品をきっかけにParisやMunichのジャズクラブ、Martinique Jazz festivalに出演。2019年、Jam Ka Deux(17年)ツアー直後のスタジオセッションを収録したアルバム"Jam Ka 2.5"をリリース。グオッカの本拠地Guadeloupeで行われた"Festival Eritaj"に出演。あらゆるフィンガーピッキングのスタイルをミックスさせた独自の奏法、ジャズをベースに様々な国を旅して得た影響や経験を音楽に採り入れながら、世界を音で繋ぐギタリスト。最新作は構想から十年の歳月をかけて制作したソロギターアルバム"Your Smile"、CD&アナログ盤をリリース。現在はSoloや自身のTrio他、参加ユニットとして『山本耕史×古澤巖 Dandyism Banquet』、沼澤尚&Kai Petite との即興トリオユニット『The Timeless Nation』、『Double Rainbow』 w/ 宮本貴奈(p,vo)や沖仁(フラメンコギター)、大萩康司(クラシックギター)とのギターユニット『TRES』、宮地遼(ba)&Kan(per)とのトリオユニット『Acustica』、たなかりか『Japanese Songbook』etc.... 様々なアーティストとのコラボレーションも積極的に行う。



TOKU(vo.flh)

日本唯一のヴォーカリスト&フリューゲルホーンプレイヤー。

2000年にアルバム"Everything She Said"でソニー・ミュージックよりデビュー。

当時から注目を集め、その年の8月には早くもブルーノート東京に出演。

一躍日本のジャズトップシーンの仲間入りを果たし、ジャズの枠を超えた幅広い音楽性から平井堅、今井美樹、大黒摩季などのアルバムに作曲家、プレイヤーとしても参加。

2008年発売のアルバム「Love Again」では初のDust SongとしてEXILEのATUSHIを迎え収録。

また2011年3月の東日本大震災直後に行われたシンディー・ローパーの国内ツアーにも参加した。

まさに本籍Jazz、住所不定のTOKU ならではの活躍を続けている。

近年では欧州、米国、アジア各国と様々な国の音楽やアーティストの共演も行い、ライブやイベントに出演している。

2020年にフランスでレコーディングを敢行したアルバム「TOKU in Paris」をフランス、日本の2ヶ国で発売し、国内外と活動の場を広げている



Kai Petite(g.vo)

6弦ベースにギター弦を混ぜたFender Bass VIや、ギターにベース弦を混ぜたアコースティックギターを弾き、ベースとギターの境界線を常に行き来するプレイヤー。ボーカルも歌詞のあるものから楽器として用いるボイスも担当し、ベースラインとコードにボイスを組み合わせた独自の世界観を作り出す。2002年Gibson Jazz Guitar Contestバンド部門で優勝。2009年にメジャーデビュー、3枚のアルバムをリリース。2012年からハーモニカ奏者の倉井夏樹とのユニットやバンドSHAMANZでアルバムをリリースし、それぞれFuji Rockにも出演。現在はソロに加えて小沼ようすけ、石塚隆充とのユニット Allendeや小沼ようすけ、沼澤尚とのバンドThe Timeless Nation、オーストラリアのEv Jones、日本の林一樹とのバンド H.K AMORI(ハイキック・アモリ)など多岐に渡り活躍中。<https://instagram.com/kai.petite?igshid=YmMyMTA2M2Y>

りぶら
ibra

岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059

岡崎市康生通西4-71

TEL:0564-23-3100(代表)

ジャズの街岡崎ホームページ

<https://okazaki-kanko.jp/jazz/>

